



## 東日本大震災における建設業界の影響

一級建築士 田丸善三

東日本大震災における生産施設の影響については、自動車・家電等の業界についてはマスメディア等を通し再三報道されているとおりであるが建設業界内の生産施設に対する情報はまとまった報道がないのが現状である。商品毎にメーカー・商社などを通じて震災関連施設を優先供給するため一般供給が遅れる旨の情報が流されているが現実には合板や断熱材、夏を控えてエアコンなども品薄になっておりメーカーでは生産のフル稼働により5月以降の品薄感の回復に対応するとしている。但し、プレハブメーカーの震災住宅フル稼働の状況から今後もユニットバスや断熱材、合板など復興住宅関連資材（木質系）の逼迫感は相当期間残ることになるだろう。国土交通省は林野庁、経済産業省と共同で住宅関連資材需給状況を調査・公表している。以下にその表を転載するので参考にされたい。国交省は同時に落ち込んだ生産により価格が高騰する事を注視し適正取引を指導する方針であるとしている。

### 住宅建設資材に関する需給状況の緊急調査結果

(資料：国土交通省)

品目	供給量		
	調査時点（3月24日から31日まで）	今後の見込み	
合板	構造用合板	工場の被災により、生産量は3割程度減	全国の工場でフル生産体制を敷くことで、4月以降は震災前の生産量を確保
	カラー合板	工場の被災により、一時的に生産が落ち込んだが、既に操業を再開	概ね震災前の生産量を確保できる見込み
パーティクルボード	工場の被災、電力不足および原材料不足により、生産量は2割程度減	計画停電と原材料調達の動向によるが、被災した工場の一部は5月頃に操業が再開可能。生産量は震災前の9割程度まで回復する見込み	
MDF	工場の被災により、生産量は2割程度減	被災工場以外の工場で生産増強。5月頃には震災前の生産量を確保	
断熱材	グラスウール	工場の被災や計画停電の影響により、生産量は3割程度減	被災した工場の操業再開や輸入の拡大（4月から月4000t以上）で、4月下旬からは平時の供給量を確保。5月以降は昨年以上の供給量に
	ロックウール	震災による影響はなし	震災前の生産量を維持
	押出発泡ポリスチレンフォーム	工場の被災と計画停電により、生産量は5割程度減	計画停電の動向によるが、4月中には震災前の9割程度まで回復する見込み
外装材（窯業系）	工場の被災と原料調達困難により、生産量は3.5割程度減	一部被災工場の操業再開、さらに、全国の工場でフル生産体制を敷くことで不足分をカバー。震災前の生産量を確保できる見込み	
サッシ	工場の被災と計画停電により、生産量は2割程度減	工場の操業再開などにより、4月以降は震災前の生産量を確保できる見込み。今後、さらなる需要増加が生じた場合でも生産増強などで対応可能	
複層ガラス	工場の被災、原料調達困難により、生産量は1割程度減	工場の操業再開などで、4月中旬以降は震災前の生産量を確保できる見込み	
鋼材	仮設住宅などの需要増で、震災前と比べて増産	復興需要増に応じてさらなる増産を見込む	
住宅設備	キッチン	工場の被災で生産量が一時的に落ち込んだが、大半の工場が生産を再開	計画停電の影響はあるものの、順次、震災前の生産量が確保される見込み
	洗面化粧台	部品の供給不足で生産量が一時的に落ち込んだが、部品供給にめど。生産力は回復	
	バスユニット	一部部品の供給不足により、生産量減	
	給湯設備機器	一部部品の供給不足により、生産量減	
浄化槽	計画停電の影響で、生産量は1割程度減	フル生産体制を敷くことで、震災前の5割増し程度の生産量の確保が可能。今後の原材料の確保状況によっては生産量に影響を及ぼす可能性も	
排水トラップ	工場被災の影響で、生産量減少	被災地域外の工場に生産を移管。5月末に震災前の生産量に回復する見込み	
電気配線（銅）	工場の被災、原材料の調達困難、計画停電の影響で、生産量は4割程度減	計画停電の動向によるが、原材料の調達も改善しつつあり、4月以降順次回復し、5月初頭には元の生産量を確保できる見込み	
塩ビ管	計画停電の影響により、生産量は4割程度減	計画停電が解消されれば、震災前と同等の生産量を確保できる見込み	